十月読みとりおけいこ⑤（中）　名前（　　）

十月は「神無月（かんなづき）」ともいいます。なぜか知っていますか？そもそも日本の神さまは八百万の神と言って、そこら中におられるものでした。お寺ではしずかに手を合わせておがみますが、神社ではパンパンと手をうつでしょう？これは仏さまなら自分の前にいらっしゃるから、音をたてなくてもいのりはとどくけれど、神さまはいっぱいおられてしかもどこに行ってらっしゃるかわからないので音をたてて自分はここにいますよ、と伝えるためです。

さてそれではなぜ十月を神無月というのか、ということですが。神さまが無い月ということなのです。では一体十月神さまはどこに行かれるのでしょう？

答えは出雲（いずも）です。島根県（しまねけん）にえんむすびの神さまとしてよく知られた出雲大社（いずもたいしゃ）がありますね。全国の神さまは十月にそこにあつまることになっているのです。そのため出雲では十月のことを神無月とはよばず神在月（かみありつき）とよんでいます。

一体神さまは何をするために出雲に行くのでしょう。大国主大神（おおくにぬしのみこと）が天照大神（あまてらすおおみかみ）に国ゆずりをしたとき、これからはおもてむきのことはあなたにまかせ、私がかくれた神事を行いますと言われたそうです。

かくれた神事が神さまたちの会ぎのことで、あの人とこの人をけっこんさせようとか決めるのもここ、と考えられました。会ぎの間はしずかにしないといけないので旧暦（きゅうれき）十月十日から一週間ほど出雲の人は大さわぎはつつしみます。

ところで「ぜんざい」はもともと神在もちという出雲の名物がルーツです。「じんざいもち」がなまって「ぜんざい」といわれるようになったのです。

音読サイン→

① 何の話でしょう？
（　　）

② 全国の神さまは十月にどこに行くのでしょう？
（　　）

③ 出雲はなんという海に面しているか調べましょう。
（　　）

④ 出雲では十月をなんとよびますか？
（　　）

⑤ なぜ仏さまの前では手をうたないのですか？
（　　）

⑥ なぜ神社では手をうつのですか？
（　　）

⑦ 日本の神話では、大国主大神はだれに国をゆずったとされているのですか？
（　　）

⑧ 神在もちがルーツな食べ物は何ですか？
（　）あわもち（　）おしるこ（　）ぜんざい

⑨ あっているものに○をつけましょう。
（　）会ぎの時はうるさくしてもいい。
（　）八百万を「やおよろず」とよむ。
（　）出雲大社はえん切りの神さまとして有名だ。

⑩ 上の話のかんそうを五行でまとめましょう。

できばえは？